

平成20年3月13日（木）

日程第30 議案第15号 平成20年度橋本市  
国民健康保険特別会計予算について から、  
日程第45 議案第30号 平成20年度橋本市  
病院事業会計予算について までの16件

○議長（中上良隆君）日程第30 議案第15号  
平成20年度橋本市国民健康保険特別会計予算  
について から、日程第45 議案第30号 平  
成20年度橋本市病院事業会計予算について  
までの16件を一括議題といたします。

これより質疑を行います。

まず、議案第15号 平成20年度橋本市国民  
健康保険特別会計予算について 質疑を行  
います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

5番 中西峰雄君。

○5番（中西峰雄君）国民健康保険の特別会  
計についてお尋ねいたします。

特別会計についてといいますか、医療費全  
般にかかわってくる話でございますけども、  
今、国のほうの医療費が直近は覚えてないで  
すが、だいたい35兆円ぐらいあるというふう  
に言われています。35兆円あって、そのうち  
の2割以上が薬品代、薬代ということで、ち  
よっと古い資料ですけども、平成14年の資料  
でいいますと、33兆円、国民医療費ありまし  
て、薬代が約7兆円あります。間違っていた  
ら申しわけないんですけど、だと思えます。  
2004年の数字がそれです。

今、国のほうは医療費の抑制を一生懸命や  
っているというのは、これはこのままいきま  
すと約2025年には65兆円を超えるだろうと  
いうことで、医療費の削減を一生懸命やろうと  
しているという状態なんですけども、ここで  
私が申し上げたいのは、橋本市の医療費全体

を下げるためには、ジェネリック医薬品の積  
極的な使用ということが必要なんじゃないか  
なというふうに感じてございます。

国のほうもジェネリック医薬品の普及促進、  
利用の促進をめざしているようでございまし  
て、厚生労働省とか聞こえてくるところによ  
りますと、量的な使用率を約3割以上にした  
いということ考えているというふうに聞いて  
おります。

この国民健康保険の特別会計につきまし  
ても、先ほど申し上げました医療費のざっくり  
とした計算で申し上げますと、国保会計の中  
の2割は薬代、2割強、25%もないかもしれ  
ません、二十二、三%は薬代だというふうに  
ざっと計算できるわけです。それでいいます  
と、ここの来年度の予算でございすけども、  
72億7,000万円という予算になっているわけ  
ですけども、これの約2割ほど薬価だとしま  
すと、25億円の薬代がかかる。これはざっ  
とした計算ですので、正確ではないかもしれま  
せんけど、ざっとそういう計算が成り立ちま  
す。

製薬メーカーの特許品、先発メーカーの薬  
とジェネリック医薬品の薬価差はどれぐらい  
あるかといいますと、多いものですと、そう  
いう薬の約2割、安いものですと2割ぐら  
いの単価です。高くても5割までですね。平均  
すると約4割ぐらいは薬代が安いということ  
になります。

それで、先ほどざっと計算した来年度の予  
算で72億円あって薬代が25億円だとします  
と、6割安いわけですね、ジェネリック医薬  
品に全部してしまうと。6割安いとなると、  
25億の6割ですから8億、9億ぐらいは安  
くなるという話になってくるわけで、全部と  
は多分

いかないだろうと思います。そのうちの、例えば5割をジェネリック医薬品にしますと、それでも4億、5億というお金になってくるわけです。

日本は大変ジェネリック医薬品の市場が低くて、ドイツなんかを見ますと、ジェネリック医薬品の使用が約5割を超えているという状況だそうです。その中で、いろいろ調べておきますと、あるまち、あるまちというのはかなり有名になったんですけども、茨城県の常陸太田市というまちがありまして、ここは市長さんが先頭に立ってジェネリック医薬品の使用促進を進めておられるということがあります。

それが市長も、それから地域の医師会も含めて一生懸命やられているということで、今この使用率が5割を超えています。量ですけどね。金額ではなくて、医薬品の量でいきますと、5割を超えていると。そうなりますと、これがもし本市でそういうふうにはジェネリック医薬品の使用が大幅に増えてきますと、1億、2億なんていうお金はあつという間に出てくるわけです。これ、来年度の予算を見ますと、繰り入れが8億円弱あるわけです。1億、2億、あるいはうまくすると3億、4億という金が削減できるわけで、これはぜひ進めていただきたい。

一番、進める上での難点は、医師会の協力ということだと思ふんですけども、これが大変どこのまちも苦勞されているようでございますが、実際、これに向かわざるを得ないんだらうと思ふんですね。というのは、今後、団塊の世代が大量退職をされていきます。

そうしますと、本市におきましても、従来は企業の保険とか、それとか政府管掌健康保険等に入られておられた方が、国民健康保険のほうに移ってこられます。移ってきたときに、国民健康保険というものが増えるのは

目に見えとるわけですね。それじゃ、どうやって減らすかといいますと、特定健診等で、世の中で国は病気になる人を減らして医療費を抑えたいということを言うとはんですが、なかなかいかないと思います。直接下がるのは薬価、ジェネリック医薬品の普及促進であろうというふうに思うわけです。

ところが、本市は市民病院は若干最近取り組みいただいているのかなと思ふんですけども、それでもまだまだジェネリック医薬品に対する各お医者さんの認識が、あるいは勉強が足らなくて、従来どおりブランドのメーカー品を志向されるお医者さんがいるというふうにお聞きしております。

まして、まちのお医者さんになりますと、なかなかそういう大手メーカーの先発医薬品に対する信仰というんですかね、ブランド志向が抜けきらなくて、本当にジェネリック医薬品の使用というのは本市では少ないのは実態でございます。

そういうことですので、私としては、ジェネリック医薬品の普及促進について、市民病院もそうなんですけど、市長自らこれを市民に訴えていただきたいなと。医師会の方にもお願いをしていただきたいなというふうに思います。これは本当に何億というお金の話ですのでね。

先ほど申し上げました常陸太田市、茨城県のまちですけども、ここは市長が先頭になって、住民の集会とか会議とかのときはやっぱりちょっとでも時間、市長自らが15分、20分でええから時間くれ、話しさせてもらいたいんやということで、住民の方にもそういう啓発を一生懸命されていると、そういう運動の中でこの使用率が5割を超えてきているということでございます。

ですので、この国民健康保険特別会計の予算につきまして、来年度だけの話じゃなくて、

今後の大きな話として、そういう運動を健康福祉部長、市長、全市一丸となって進めていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○議長（中上良隆君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（上田敬二君）高齢者人口の伸びとともに医療費、年々増加しております。75歳以上の人については、後期高齢者医療へ移る、そういうことを反映した20年度の予算になっておりますけれども、やっぱり薬価、おっしゃるとおりだと思います。薬価が占めるウェートは大きくて、最近ジェネリック医薬品ということで再三マスコミ等にも取り上げられまして、被保険者の認識は高まっているかと思えます。

ちなみに、市内の医療機関、開業医、病院も含めてですけれども、実態としては年々普及していているという認識で、保険者の立場からはそういう認識を持っておりまして、引き続き積極的に進めていきたいという思いはあるんですけれども、ただ、ジェネリックにするか先発薬品にするか、これはあくまで患者の方の希望で医師が処方するという建前がございます。

そういうことで、年々医師の方についてもジェネリックに切りかえてくださってはいるんですけれども、医師の方が処方せんを書いていただきまして、実際に調剤薬局に処方せんを持っていくと。そこで、また薬剤師と患者さんが相談される場合もあるみたいで、うちに再度連絡をとって、ジェネリックに変えてもいいか、そういうこともまま薬局のほうでも見受けられるという話を聞いておりまして、今後、保険者としては大変ありがたい話なんですけれども、やっぱり被保険者等へ積極的にPR、医療機関のほうへは積極的に呼びかけていくのは若干無理があるのかなと。ただ、被保険者に対しては20年度から幸いにして特

定健診とか保険指導が始まりますので、ジェネリック薬品でも十分効能が期待できるんですよということで、医療の財政の状況も踏まえてPRしていけたらなと思っております。

今後、私たちのできる範囲で取り組んでいきたいと思えます。

○議長（中上良隆君）5番 中西君。

○5番（中西峰雄君）積極的にというお話いただいておりますけれども、私もたまたまこういう議員しておりますのでそういうことを知っておるわけですが、普通の人はずり知りません。お医者さんが処方せんを書いてそれをもらう。普通はそうなんです。じゃ、どうするかと言うと、先ほど言いましたように、常陸太田市なんかは市長自らがそういう会合の場に出て行ってジェネリックを使ってくださいと。そうすれば皆さんの医療費も安くなるし、市のほうも助かるんですよという運動しておるわけですね。そうせんと、なかなか患者のほうは先生に対して薬、ジェネリックにしてくださいというのは言いません。普通は言いません。

こういうカードもあるんですよ。「ジェネリック医薬品お願いカード」というの。こういうのつくられておるんです。こういうのを保険証のところに入れていただいて、これを提示していただくとか、そういうふうに積極的に推進していかないと、普通の被保険者の方というのは、何のことかわからんです、はっきり言って。それは自分の医療費が安くなるということもびんと来ないし、効能も一緒ですよというのなかなか理解していただけないと思うので、これはただ単に市内の医療機関なりお医者さんにジェネリックをできるだけ使ってくださいよというお話をするだけでは、お医者さんの世界というのは特殊な世界でもあるし、なかなかいかないの、これは本市挙げて、健康福祉部長を中心に、また

市長も中心になっていただいて、進めていただきたいと思います。

例えば、これ使用率が5割になりますと、億ですよ。億のお金が出てきます。ぱっとね。ですから、ぜひ積極的に一大運動、これも教育の話じゃないですけども、一大キャンペーンを張っていただいて、普及促進していただくことをお願いしたいと思います。

答弁結構です。

○議長（中上良隆君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第16号 平成20年度橋本市簡易水道事業特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第17号 平成20年度橋本市国民宿舎特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第18号 平成20年度橋本市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第19号 平成20年度橋本市老人保健特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第20号 平成20年度橋本市公共下水

道事業特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第21号 平成20年度橋本市駐車場事業特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第22号 平成20年度橋本市墓園事業特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第23号 平成20年度橋本市農業集落排水事業特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第24号 平成20年度橋本市土地区画整理事業特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次に、議案第25号 平成20年度橋本市介護保険特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないので、次

に、議案第26号 平成20年度橋本市介護サービス事業特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないようですので、次に、議案第27号 平成20年度橋本市指定訪問看護事業特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないようですので、次に、議案第28号 平成20年度橋本市後期高齢者医療特別会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないようですので、次に、議案第29号 平成20年度橋本市水道事業会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

9番 上田君。

○9番（上田良治君）この水道事業会計の中で、547ページと549ページの中で、動力費の中でポンプ場、ポンプアップしているところがずっと記載していただいているんですが、現在も使われていないポンプ場もあるということで、そういったところについては、今後、いろいろと鉄が錆びついておるとか、草がぼうぼうに生えたり、景観が非常に悪い、害虫が来るとかということで、いろいろと周りの人からいろんな苦情もあるんですが、そういったことで、今後、ポンプ場、もう現在使われていないポンプ場、こういったような土地

について、売却等、いろいろと考えておると思うんですが、その辺のところ、どういったお考えでおるのかお聞かせいただけますか。

○議長（中上良隆君）上下水道部長。

○上下水道部長（井手上治巳君）この予算書に上がっておるところは現在稼働のところですが、今、議員さんおっしゃるような水道用地の現在使用していない場所がございますが、場所は10カ所程度ありますが、公団混乱地区もありまして、また、過去の経過も踏まえて保有しておく必要のある土地等がありまして、処分につきましては慎重に検討していきたいと考えております。

○議長（中上良隆君）9番 上田君。

○9番（上田良治君）10カ所程度あるということ、そういうような中で、近隣の地域の人が土地を分けてほしいよ、そういった声もございます。そういったことで、きっちりと境界が明示されていないということがあるのはわかるんです。そういったところを今後とも地積調査等を進めながら売却していけるように、また、部長さん、今回ご勇退されるということなので、また今後次の部長に引き継ぎを十分していただきまして、よろしく願い申し上げます。

○議長（中上良隆君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）次に、議案第30号 平成20年度橋本市病院事業会計予算について 質疑を行います。

全般について行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中上良隆君）ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。ただ今議題となっております議案第15号から議案第30号までの16件については、平成20年度予算審査特別委員会

に付託いたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(中上良隆君)ご異議なしと認めます。

よって、議案第15号から議案第30号までの16件については、平成20年度予算審査特別委員会に付託し、審査することに決しました。